

別記様式第1号（第4条関係）

木津川市子ども・子育て会議 開催結果要旨

会 議 名	平成28年度第2回木津川市子ども・子育て会議		
日 時	平成28年8月5日 午後1時30分～3時30分	場 所	木津川市役所5階 全員協議会室
出 席 者	委 員	別紙のとおり	
	その他出席者	なし	傍聴人の数 2人
	庶 務	こども宝課	■公開 □非公開
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1)「木津川市公立保育所民営化等実施計画（素案）」について</p> <p>(2)子育て支援サイト構築業務について</p> <p>(3)その他</p> <p>①民間保育所等運営補助事業について等</p> <p>②城山台児童クラブについて</p> <p>③家庭的保育事業について</p> <p>4 閉会</p>		
会議結果要旨	<p>1 開会</p> <p>事務局より、開会の宣言を行うとともに、会議資料の確認を行った。</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>安藤会長より、本日の会議録の署名委員について、会長のほかに伊瀬委員が会長から指名された。</p> <p>3 議事</p> <p>(1)「木津川市公立保育所民営化等実施計画（素案）」について</p> <p>「資料 計画素案 No. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10」に基づき、事務局より説明</p>		

	<p>(2) 子育て支援サイト構築業務について 「資料 No. 11」に基づき事務局より説明</p> <p>(3) その他</p> <p>①民間保育所等運営補助事業について等 「資料 No. 12, 12-①, 13」に基づき事務局より説明</p> <p>②城山台児童クラブについて 事務局より、口頭での説明</p> <p>③家庭的保育事業について 事務局より、口頭での説明</p> <p>4 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1 開会 事務局より、開会の宣言を行う。</p> <p>2 会長あいさつ 本日も重要な議題がいくつかありますので、貴重な意見を頂戴し、会議の役割を果たしていきたい。</p> <p>3 議事 主な意見・質疑等はつぎのとおり (○：質疑・意見、 ⇒：質疑に対する返答)</p> <p>(1)「木津川市公立保育所民営化等実施計画（素案）」について</p> <p>○統廃合のところで、相楽台保育園、兜台保育園になっているが、職員の処遇はどうなるのか。 ⇒公設公営の職員は市職員であるが、人事との調整も必要である。また、他園への異動や嘱託職員については、民間への受け入れを協議していきたい。</p> <p>○やましろ保育園やいづみ保育園が「認定こども園」となっているが、いつごろか。 ⇒一定 34 年度に認定こども園化を目指している。両園は幼稚園のない地域であることから 1号子どもの受け入</p>

れも考えていくため、公営保育園も認定こども園化を目指していきたい。

○この場でも出しきれない意見もあると思うが、どのようにしたらよいか。

⇒意見シートを配布しているので、8月31日までにファックスやメールで提出してほしい。

○地域の方々の思い、公設公営の思いもあると考える。今後の地域の方に対する説明や地域の意見を聞く必要もあるのではないか。

⇒地域の利用があつての保育園と考えているので、丁寧な説明を行っていきたい。2年前から説明をしていく予定である。

○幼稚園と保育園の機能を併せ持つ認定こども園の建設が進められている。私立幼稚園の検討していただけないか。

⇒幼稚園と保育所では法の違いもある。認定こども園については、幼保連携型認定こども園として現在建設中のもも含め保育の見込みも勘案しながら取り組みを進めており、保護者の理解を得ながら進めていきたい。幼稚園については、教育部の所管となるので、教育部と協議をさせていただく。

○公設民営について教えてほしい。

⇒財産は市が持つが、運営を民間で行っている。公設の保育園であるので、運営委託に関して、国からの補助金の対象とならない。

○統廃合が2か所あるが、南加茂台の子ども人口の減少はわかるが、木津西地域は木津川台保育園も統廃合するのか。

⇒木津西地域の人口減少の状況もあるが、今後の見込み量

を勘案した中で、木津川台は民営化としたい。

○民間保育園の運営上、定員を割るのは困る。子ども人口の推移を考えながら、計画の変更も必要と思われる。決まった状態での報告は避けてほしい。

⇒子ども人口の推移は変化していくので、5年スパンで検証していきたい。また、色々な場を通じて周知はしていきたい。

○公設公営の民営化ということで、保育園のスリム化になると聞いている。施設の老朽化している相楽保育園ではどうしていくのか。

⇒昭和の施設で古井。地域拠点園として建替えも勘案している。

(2) 子育て支援サイト構築業務について

○サイトの進捗については、今後も説明があるのか。

⇒この場で報告していく。

(3) その他

① 民間保育所等運営補助事業について等

○欠員が出るのが困るが、どのように考えているのか。



⇒入所調整を工夫する。0歳児の調整が今年度は遅かったが、現時点では待機児童も出ているので、欠員調整はしていきたい。

○一時預かりの幼稚園型というのはどういうものか。

⇒国の要綱で定められており、1号子どもが4時間の教育を受けた場合、その後の保育を希望するときの預かり保育のことである。

○藍咲学園は15名の受け入れと聞いているが、それ以上の希望があっても受け入れるのか。

⇒20%オーバーで3年が経過すると、費用がカットされる

	<p>ことになるので、法人としてはマイナスとなる。今後どう受け入れるかは。現時点では不明である。</p> <p>②城山台児童クラブについて 質疑・意見等はなし。</p> <p>③家庭的保育事業について ○家庭的保育を市はどれくらい見込んでいるのか。 ⇒0～2歳での待機が多いのが現状である。事業所の事情もあるが、小規模保育も活用しながら待機児童の解消をめざしたい。</p> <p>○3歳の壁で、0～2歳を受け入れた後の3歳児の受け入れ先の問題がある。次の3歳のことを考えて計画して行く必要があるのではないか。 ⇒方向性や連携園の設定も必要であると考えてるので、今後この会議で図っていく予定である。</p> <p>4 閉会</p>
<p>その他特記事項</p>	
<p>署名欄</p>	<p>木津川市子ども・子育て会議 会長</p> <p>安藤 和彦  印</p> <p>伊瀬 祐美子  印</p>

木津川市子ども・子育て会議委員名簿(H28.4.1～H30.3.31)

No.	所属	役職	氏名	第2回
1	やましろ保育園 保護者会	代表	辻村 和也	欠
2	子育てサロン りんごちゃん	代表	加藤 千景	欠
3	木津幼稚園	保護者代表	岩井 朱美	
4	高の原幼稚園	保護者代表	田所 朋子	
5	株式会社 エム・システム技研	総務部長	七條 歩	
6	株式会社 ミツワ製作所	経営企画部長	大嶋 良孝	欠
7	タツタ電線株式会社 タツタテクニカルセンター	管理室副室長	宝壁 宣之	
8	自治労木津川市職員組合	代表	木村 育代	
9	木津保育園	園長	吉田 仁美	
10	木津川台保育園	園長	堀江 美重子	
11	南加茂台保育園	園長	森岡 章子	
12	兜台保育園	園長	藤田 実	
13	梅美台保育園	園長	濱 亀美子	
14	木津さくらの森保育園	園長	藤本 和寿	
15	なごみ保育園	園長	伊瀬 祐美子	
16	相楽幼稚園	園長	谷原 美紀	
17	高の原幼稚園	園長	井ノ上 恵己子	
18	みかのはら幼稚園	園長	志水 百合子	
19	京都文教短期大学 幼児教育学科	教授	安藤 和彦	
20	幼児教育経験者	元幼稚園長	阪本 磨祐美	
21	加茂民生児童委員協議会	主任児童委員	高橋 史代	
22	社会福祉協議会事務局	事務局長	渡邊 かおる	
23	京都府 山城南保健所	福祉室長	山内 俊和	
24	木津川市 健康福祉部	部長	森 功	
25	木津川市 教育部	部長	森本 直孝	